

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(80歳代男性及び10歳未満女性)あります。本年の累積報告数は28例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センター「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が2例(60歳代及び80歳代男性)あり、本年の累積報告数は12例となっています。
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(70歳代男性)あります。本年の累積報告数は17例となっています。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり、症状は発熱、肺炎、菌血症で、感染経路は接触感染で、本年の累積報告数は9例です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は発熱、意識障害、菌血症です。感染経路は不明です。本年の累積報告数は65例となっています。
京都市では、肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○京都市が実施する定期的予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
○高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

◆ 今週のトピックス: < 感染性胃腸炎 >

- 京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は9.76(410例)となり、過去5年平均よりも高い推移で、3週連続で増加しており、特に第45週は大幅に報告数が増えています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 4例(肺結核 3例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 291例(肺結核 155例, その他結核 64例, 潜在性結核感染者 72例)うち喀痰塗抹陽性 73例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例(第43週追加報告分1例)【1月以降の累積報告数 28例】
- 四類: レジオネラ症(肺炎型) 2例【1月以降の累積報告数 12例】
- 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 17例】
- 五類: 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 65例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

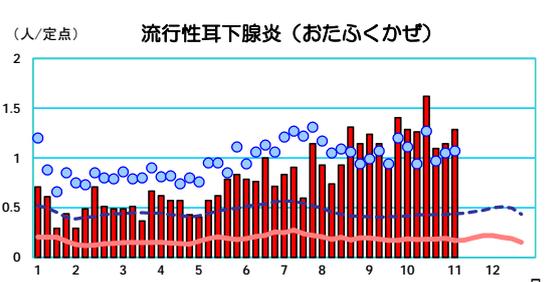
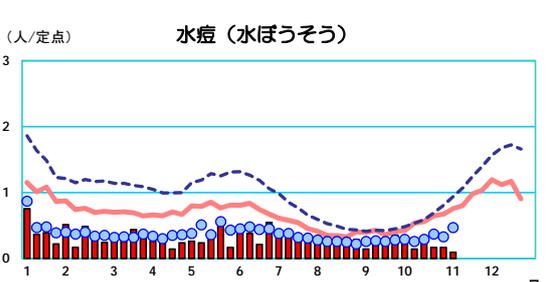
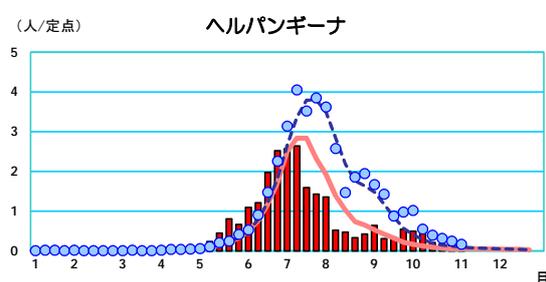
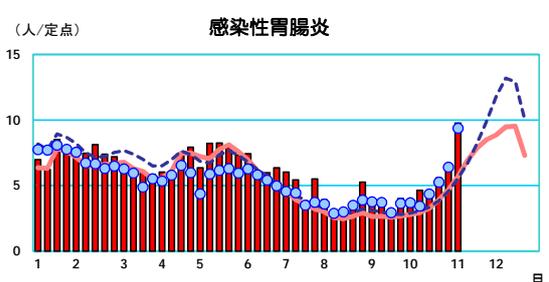
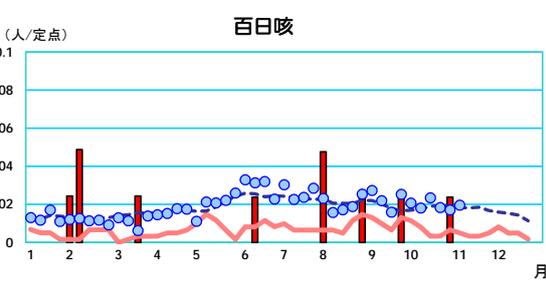
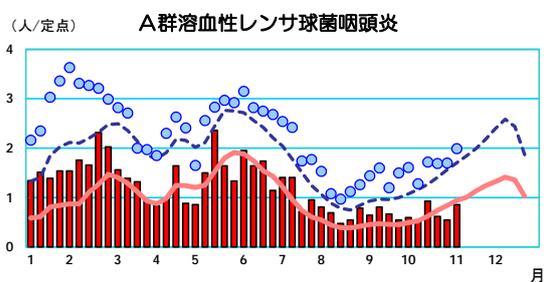
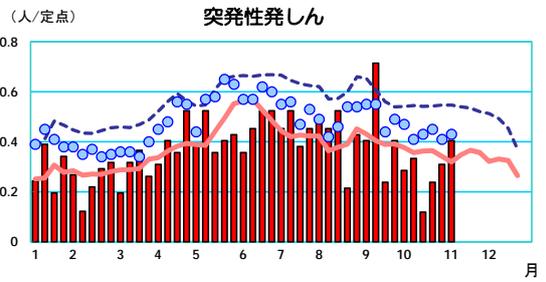
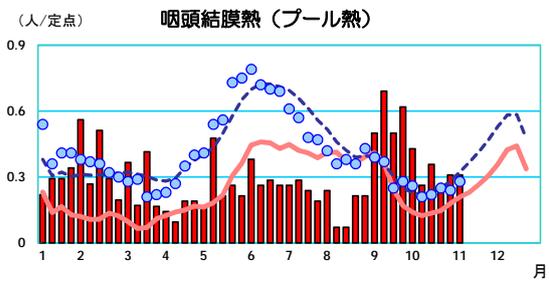
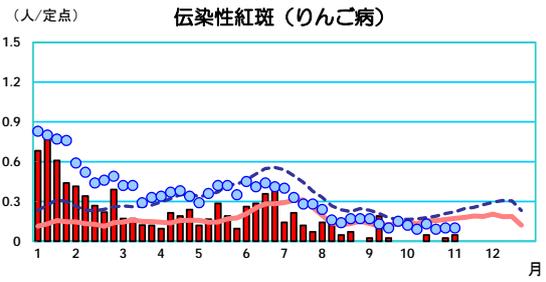
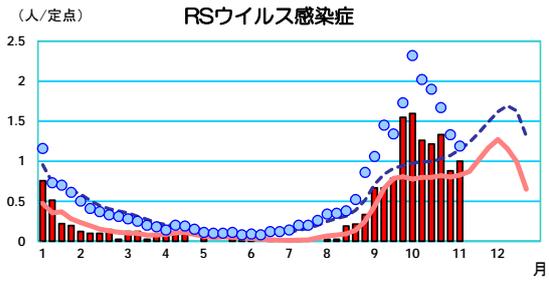
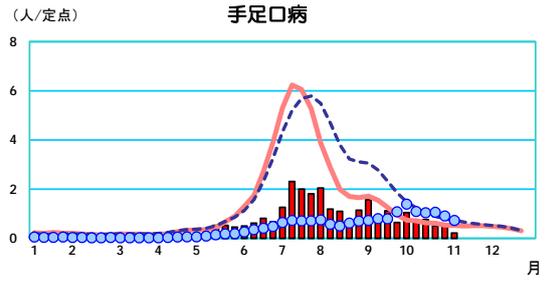
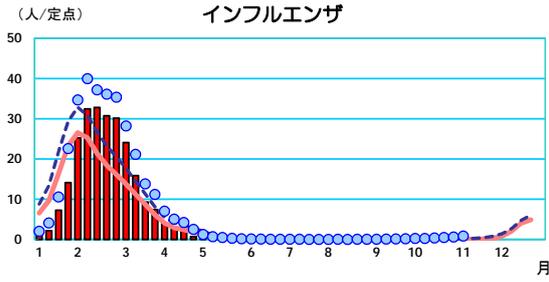
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.35	24
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.76	410
	② 流行性耳下腺炎	1.29	54
	③ RSウイルス感染症	1.00	42
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	36
	⑤ 突発性発しん	0.40	17
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: < 感染性胃腸炎 >
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年11月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第45週(11月7日～11月13日)トピックス: <感染性胃腸炎>

京都市及び全国の発生動向

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は9.76(410例)となり、過去5年平均よりも高い推移で、3週連続で増加しており、特に第45週は大幅に報告数が増えています(図1)。全国の定点当たり報告数も、全都道府県で前週から増加しています。広島県では警報レベルである20を超え、次いで三重県、奈良県、宮城県の順に報告数が多くなっています(図2)。

過去5年間の定点当たり報告数の推移を見ても、第44週から第45週にかけての上昇率が最も流行した平成24年によく似ています。例年11月から報告数が急増し、12月にピークを迎えるという流行を繰り返していることから、今後の発生動向に注意が必要です(図3)。

症状及び予防

感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。報告数が増加する冬季の感染性胃腸炎の多くはノロウイルスが主な原因と考えられます。特に集団発生例の原因の多くはノロウイルスであり、このウイルスの潜伏期間は1～2日です。主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛です。症状持続期間は1～2日と比較的短く、重症化することは少ないです。体力の弱い乳幼児、高齢者は脱水症状を起こしたり体力を消耗しないように、水分と栄養の十分な補給が必要になります。

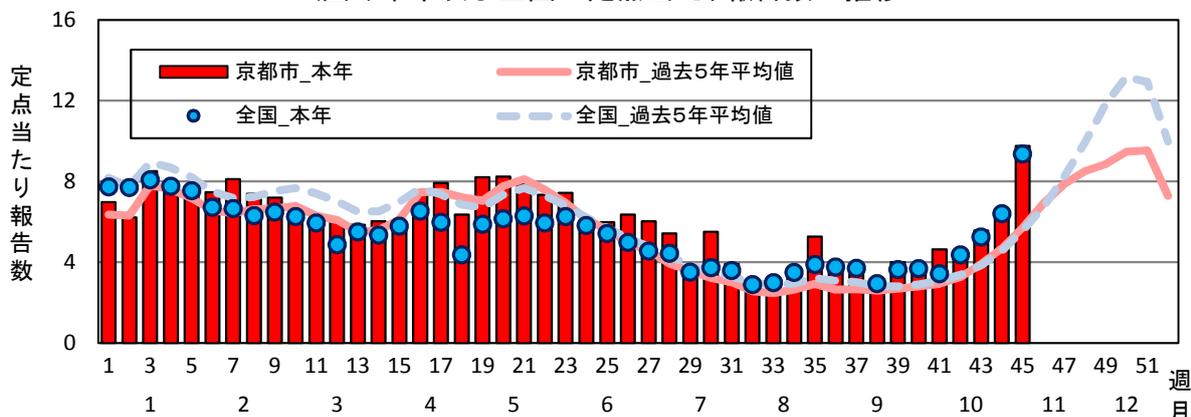
感染予防には、流水・石けんによる手洗いを励行しましょう。また、吐物や下痢便の適切な処理を行います。

京都市では感染性胃腸炎について京都市情報館に掲載しています。下記URLを御参照ください。

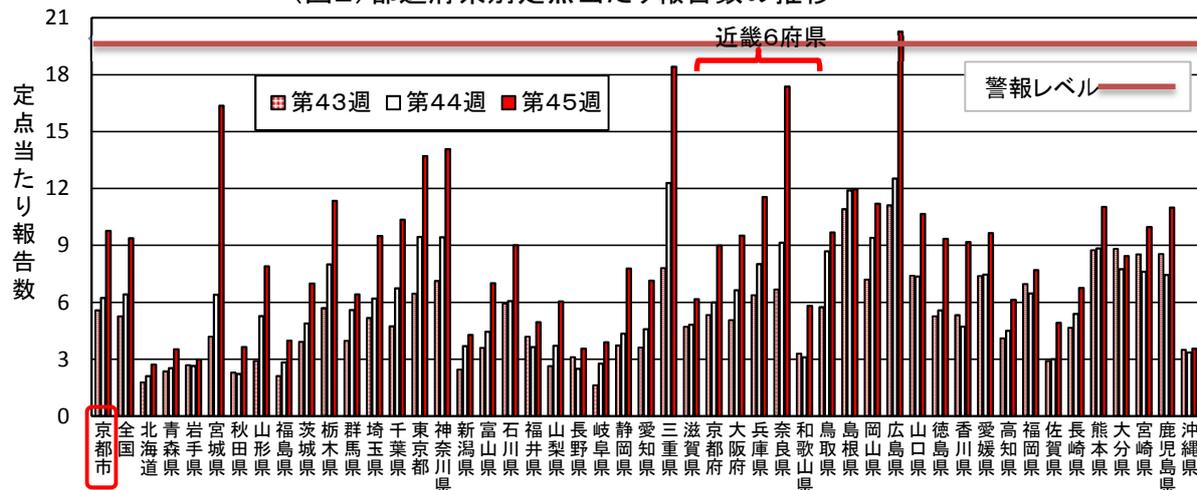
○「感染性胃腸炎に注意!!」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000046226.html>

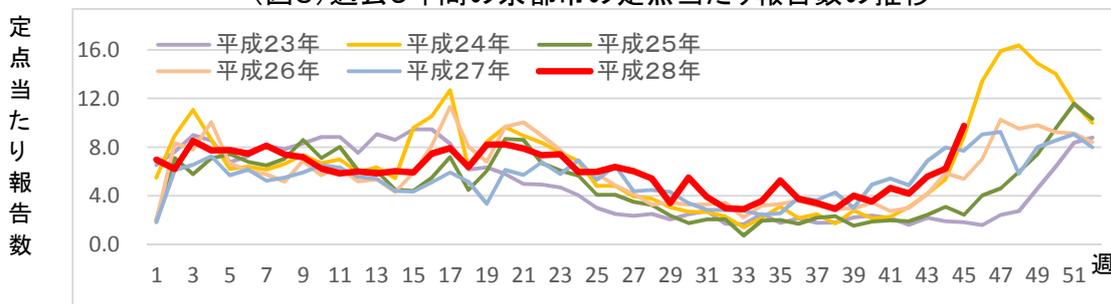
(図1)本市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)都道府県別定点当たり報告数の推移



(図3)過去5年間の京都市の定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第45週

疾病,行政区別報告数

平成28年11月7日～平成28年11月13日

データ入手日:平成28年11月16日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1	2	-	1	7	-	1	-	1	-	-	1	-	-						
上京	3	2	4	4	4	-	-	-	2	-	-	4	-	-						
左京	4	1	2	5	78	-	-	-	1	-	2	4	-	-						
中京	2	7	-	1	24	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2	1	-	1	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	6	9	-	6	-	-	1	-	5	-	-	9	-	-						
下京	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1	-	2	3	20	-	1	-	1	-	-	5	-	-						
右京	2	8	4	5	81	2	1	-	2	-	1	9	-	3						
伏見	-	5	1	3	100	2	2	2	3	-	1	10	-	-						
西京	2	7	-	7	62	-	-	-	1	-	-	12	-	-						
京都市計	24	42	13	36	410	4	9	2	17	-	4	54	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.14	0.50	-	0.25	1.75	-	0.25	-	0.25	-	-	0.25	-	-						
上京	0.60	0.67	1.33	1.33	1.33	-	-	-	0.67	-	-	1.33	-	-						
左京	0.57	0.25	0.50	1.25	19.50	-	-	-	0.25	-	0.50	1.00	-	-						
中京	0.40	2.33	-	0.33	8.00	-	1.00	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	0.50	-	0.50	17.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.86	2.25	-	1.50	-	-	0.25	-	1.25	-	-	2.25	-	-						
下京	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.20	-	0.67	1.00	6.67	-	0.33	-	0.33	-	-	1.67	-	-						
右京	0.25	1.60	0.80	1.00	16.20	0.40	0.20	-	0.40	-	0.20	1.80	-	3.00						
伏見	-	0.71	0.14	0.43	14.29	0.29	0.29	0.29	0.43	-	0.14	1.43	-	-						
西京	0.25	1.40	-	1.40	12.40	-	-	-	0.20	-	-	2.40	-	-						
京都市計	0.35	1.00	0.31	0.86	9.76	0.10	0.21	0.05	0.40	-	0.10	1.29	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第45週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年11月7日～平成28年11月13日

データ入手日:平成28年11月16日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	24	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	3	6	1	4	-	3	-	2	1	1	
RSウイルス感染症	年齢3	42	10	8	14	3	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		13	-	-	3	1	3	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		36	-	-	-	2	2	4	5	2	7	3	4	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		410	2	17	62	57	47	35	43	29	15	17	12	35	7	32	-	-	-	-	-	-	-
水痘		4	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		9	-	-	4	2	2	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		17	-	7	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		4	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
流行性耳下腺炎		54	-	-	2	3	4	8	8	7	4	6	5	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.35	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	0.03	0.04	0.09	0.01	0.06	-	0.04	-	0.03	0.01	0.01	
RSウイルス感染症	年齢3	1.00	0.24	0.19	0.33	0.07	0.05	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.31	-	-	0.07	0.02	0.07	0.07	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	-	-	-	0.05	0.05	0.10	0.12	0.05	0.17	0.07	0.10	0.10	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		9.76	0.05	0.40	1.48	1.36	1.12	0.83	1.02	0.69	0.36	0.40	0.29	0.83	0.17	0.76	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.10	-	-	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.21	-	-	0.10	0.05	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.40	-	0.17	0.21	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.10	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1.29	-	-	0.05	0.07	0.10	0.19	0.19	0.17	0.10	0.14	0.12	0.10	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第45週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年11月16日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		3	5	5	12	9	24
RSウイルス感染症		67	53	51	56	37	42
咽頭結膜熱		18	11	15	11	13	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		25	23	39	26	23	36
感染性胃腸炎		148	195	176	234	262	410
水痘		12	6	11	7	7	4
手足口病		44	30	32	21	23	9
伝染性紅斑		-	-	2	-	1	2
突発性発しん		12	14	5	10	13	17
百日咳		-	-	-	-	1	-
ヘルパンギーナ		21	19	9	7	9	4
流行性耳下腺炎		54	53	68	46	48	54
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	3	4	1	5	3
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		409	412	417	431	451	618

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.04	0.07	0.07	0.17	0.13	0.35
RSウイルス感染症		1.60	1.26	1.21	1.33	0.88	1.00
咽頭結膜熱		0.43	0.26	0.36	0.26	0.31	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.60	0.55	0.93	0.62	0.55	0.86
感染性胃腸炎		3.52	4.64	4.19	5.57	6.24	9.76
水痘		0.29	0.14	0.26	0.17	0.17	0.10
手足口病		1.05	0.71	0.76	0.50	0.55	0.21
伝染性紅斑		-	-	0.05	-	0.02	0.05
突発性発しん		0.29	0.33	0.12	0.24	0.31	0.40
百日咳		-	-	-	-	0.02	-
ヘルパンギーナ		0.50	0.45	0.21	0.17	0.21	0.10
流行性耳下腺炎		1.29	1.26	1.62	1.10	1.14	1.29
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	0.30	0.40	0.10	0.50	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		10.09	9.99	10.19	10.23	11.04	14.72

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。